

本号の内容

- ①景観フォーラム～景観の教育機会の向上～
- ②景観学習教室
- ③良好な景観に関する取組について
- ④環境色彩セミナー
- ⑤都市計画研修

1.

景観フォーラム～景観の教育機会の向上～

①景観フォーラム～景観の教育機会の向上～

県では、県民の景観形成に対する関心と行動への意欲を高めることを目的として、平成19年度から景観フォーラムを開催しています。今年度は、令和4年6月6日(月)にアウガ青森市男女共同参画プラザ・カダールAV多機能ホールにて、「景観の教育機会の向上」をテーマとして開催しました。併せて、YouTubeにてフォーラムの様子をライブ配信しました。

はじめに、弘前大学特任教授の北原啓司様より、「第14回ふるさとあおり景観賞」の講評が行われ、県内の良好な景観づくりに貢献していると認められる9作品が紹介されました。

次に、黒石市教育委員会文化スポーツ課の橋瑛子様より、「黒石市の景観学習教室について」、岩手県北上市NPO法人いわてNPO-NETサポートの菊池広人様より「新学習指導要領と景観学習～私から始まる未来を創る学び～」について基調講演をして頂きました。

続いて、パネリストとして八戸工業高等専門学校教授の河村信治氏、橋瑛子様、菊池広人様、コーディネーターとして北原啓司様をお招きし、パネルディスカッションを行いました。

令和4年度景観フォーラムを青森県県土整備部のYouTubeチャンネルで配信しましたので是非ご覧ください。



第14回ふるさとあおり
景観賞講評



パネルディスカッション
「景観の教育機会の向上」



令和4年度景観フォーラムの様子は
こちらのQRコードからご覧ください。

2.

景観学習教室

県では、これからの青森県を担う子どもたちの景観に対する関心と良好な景観形成への意識を育むことを目的に、景観アドバイザーなど景観の専門家を講師として小学校等に派遣し、景観に関する授業を行う出前講座「景観学習教室」を平成14年度から開催しています。今年度は、以下の小学校からご応募があり、開催しました。

今年度の参加学校・施設（3校／計68名）

- | | | |
|----------------|-----------|--------------|
| 1. むつ市立 脇野沢小学校 | 3～6年生／10名 | (講師：北原 啓司先生) |
| 2. 平川市立 猿賀小学校 | 3年生／20名 | (講師：石澤 暁夫先生) |
| 3. 平川市立 金田小学校 | 4年生／38名 | (講師：石澤 暁夫先生) |

【景観学習教室の様子：むつ市立脇野沢小学校】



景観について学んでいる様子



まち歩きの様子



発表会の様子

【景観学習教室の様子：平川市立猿賀小学校】



景観について学んでいる様子



まち歩きの様子



発表会の様子

【景観学習教室の様子：平川市立金田小学校】



景観について学んでいる様子



まち歩きの様子



発表会の様子

3.

良好な景観に関する取組について

良好な景観づくりに貢献している景観やまちづくり活動を表彰し、魅力ある景観形成への県民意識向上や美しい景観づくりに寄与することを目的として、昨年度も「第14回ふるさとあおもり景観賞」を実施しました。今回は29件の応募があり、厳正な審査の結果、県内の良好な景観づくりに貢献していると認められる下記9作品が受賞しました。



まちなみ部門 最優秀賞
中町こみせ通り
(黒石市)



まちなみ部門 最優秀賞
11ぴきのねこのまち さんのへ
(三戸町)



土木施設部門 最優秀賞
Park DAIKANYAMA
(むつ市)



公共建築物部門 最優秀賞
八戸市美術館
(八戸市)



民間建築物部門 最優秀賞
核家族の家@尾上
(平川市)



民間建築物部門 最優秀賞
株式会社 NTT データ・スマート
ソーシング aomori Wanon
(青森市)



屋外広告物部門 最優秀賞
東通村集落案内看板
(東通村)



地域づくり活動部門 最優秀賞
ふるさとの家保存会
(五戸町)



地域づくり活動部門 最優秀賞
青森県立弘前工業高等学校建築科第3学年
模型制作班 (ミニチュア建造物修理)
(弘前市)



また、県では、6月1日の「景観の日」に合わせ、ふるさと青森の個性を生かした魅力ある景観形成に対する県民の意識を高め、本県の美しい景観づくりに寄与することを目的とした「景観の日ポスター」を作成し、景観の普及啓発活動に取り組んでいます。

景観の日のポスターは、張山田鶴子先生にお願いしており、今年度はコスモスの花が咲き誇る青森市のモヤヒルズの美しい景観を表現していただきました。また、来年度のポスターについては、深浦町の北金ヶ沢の大イチョウを題材にスケッチを行いました。

どうぞお楽しみに！



第16回ふるさとあおり景観賞

ふるさとあおり景観賞は、県内の良好な景観づくりに貢献している、まちなみ、建築物、屋外広告物及び地域づくり活動等を表彰することにより、ふるさと青森の個性を生かした魅力ある景観形成に対する県民意識を高め、本県の美しい景観づくりに寄与することを目的に実施するものです。

令和5年度は第16回を迎え、令和5年6月1日（木）～令和6年1月31日（水）の期間（予定）で募集します。

皆さまにおかれましても、好きな景観、気になる景観などございましたら、ご応募してみたいかがでしょうか。詳細につきましては、後日募集チラシを送付させていただきます。

また、過去の受賞作品などは、都市計画課ホームページにてご確認頂けますので、ご覧頂ければ幸いです。



4. 環境色彩セミナー

県では、良好な景観を形成するにあたって重要な要素となる「色彩」について、専門知識の習得を図るため、「環境色彩セミナー」を県・市町村職員及び民間建築・建設業者、屋外広告業者を対象に平成15年度から開催しています。今年度は、令和4年10月13日(木)～14日(金)に開催し、のべ10名が受講しました。

日本で唯一の色彩に関する総合的な研究機関である一般財団法人日本色彩研究所理事長の赤木重文様を講師に迎え、建物等の色彩の計画決定までの基本的な流れを学ぶ研修を行いました。

今年度は、1日目に演習を含んだ講義及びまちあるきを行い、2日目にまちあるきで見つけた建設物等をシミュレーションの題材として、実際に建設物等の色彩設計の案を検討・作成し、グループ毎に色彩計画のプレゼン発表を行いました。

受講者からは、「実際に測色しながらの演習だったので、調査の方法、概要を理解できた。対象物1つだけでなく、通り全体のバランスを見るという、新しい体験ができた。」との意見を頂きました。



まちあるきの様子



グループワークの様子



発表の様子

5. 都市計画研修

県では、県・市町村職員を対象とした、都市計画の実務に必要な知識等を習得するため、日常の業務を円滑に執行できるように、毎年、都市計画研修を開催しています。

今年度は、令和4年8月29日(月)～30日(火)に開催し、20名が受講しました。

初日の研修では、まず前半に、都市計画課の職員による都市計画に関する基礎知識の習得を目的とした講義、後半はむつ市都市計画課の丸谷知功氏による『むつ市の都市計画について』の講義、さらに、「60年後の都市」をテーマにグループワークを行い、都市の将来像を描きました。

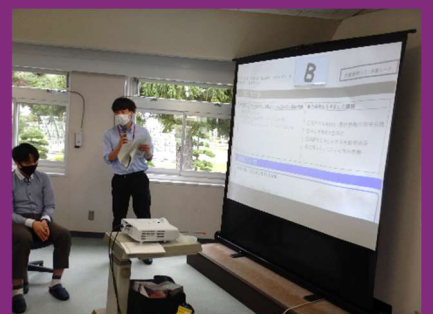
2日目の研修では、はじめの1時間程度で都市計画課の職員による講義を行いました。その後は初日に行ったグループワークの続きを行い、初日に描いた都市の将来像をもとに都市構造図を作成し、グループごとに発表を行いました。



講義の様子



グループワークの様子



発表の様子



編集後記

本年度は、新しい生活様式が浸透してきた中において、「景観フォーラム」が3年ぶりの会場での開催、「都市計画研修」も3年ぶりの開催、「環境色彩セミナー」は2年ぶりの開催となり、新しい生活様式が始まる前と同様の形式で、景観やまちづくりの普及啓発に取り組むことができました。今後も、皆様にも楽しんでもらいながら景観やまちづくりを学べるよう、時代に合わせ様々工夫し取り組んでいきたいと思っています。

「景観学習教室」は本年度3校で開催しました。子供たちは「景観」という言葉に最初はあまりピンと来ていない様子でしたが、講師の先生からわかりやすく説明を受けると、興味をすごく持ち始めて最後まで集中して取り組み、どの子供たちもしっかりとした発表内容を披露してくれました。中には私たち大人の発想では出てこない、感性豊かな視点での発表・発言もあり、講師の先生、県の担当者ともども非常に感心しました。

このように、景観を守り、つくっていくことの大切さを小学生のうちから学んでもらい、景観に対する関心と良好な景観形成への意識が育まれていくことで、未来のまち育て人・景観人が現れてきて欲しいなあと思います。

さいごに、まち育て人・景観人の皆様におかれましては、今後とも、青森県の都市計画・景観・屋外広告物行政の推進につきまして、ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。

発行：青森県 県土整備部 都市計画課 都市計画・景観グループ

住所：〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1-1

電話：017-734-9681（直通） FAX：017-734-8196